

立教大学外国語教育研究センター
開設記念シンポジウム

グローバル社会で 「生き抜く力」を育てる 外国語教育

8月30日(日) 13:00 開始

オンライン開催 (申込要 : 右下のQRコードから
お申込みください)

立教大学外国語教育研究センター
Center for Foreign Language
Education and Research (FLER)

立教大学では、創立以来重視してきた外国語教育をより一層充実させるため、外国語およびその教育に関わる優れた研究活動を行いながら、先端的な外国語教育を開発・実践する全学的な組織「外国語教育研究センター」を2020年4月に開設しました。同センターは、外国語教育研究を基盤として現代にふさわしい外国語教育活動を行い、研究と教育の有機的な連携を目指していきます。



立教大学

主催：立教大学外国語教育研究センター
お問い合わせ：外国語教育研究センター事務局
e-mail : fler@rikkyo.ac.jp

<https://forms.gle/6BXWfPvD9wu8tN29>



急激に変化するグローバル社会の中で、子どもたちは知識・スキルだけでなく、自ら課題を発見し、批判的に考え、他者と協力しながら課題解決する力を身につけることが求められています。「主体的・対話的で、深い学び」を推進する新学習指導要領の策定や大学入試制度改革など日本の学校教育が大きく変わろうとする中、英語をはじめとする外国語教育はこれからどのような方向に向かっていくのでしょうか？立教大学では外国語教育研究センター開設を記念して、これからの時代に子どもたちがたくましく生き抜く力を育成するために、外国語教育が果たすべき役割について考えるシンポジウムを開催します。

プログラム ※当日の進行により、時間が少し前後する場合があります。

13:00-13:15

ウェルカム・スピーチ、立教大学の外国語教育の紹介 オープニング

新多 了 (立教大学外国語教育研究センター教授・センター長)

「立教大学の英語カリキュラム：『生き抜く力』を身につける英語教育を目指して」

山本 有香 (立教大学外国語教育研究センター准教授・副センター長)

13:15-13:55

基調講演

「グローバル社会で『生き抜く力』を育てる外国語教育」 坪谷ニューエル 郁子 (株式会社東京インターナショナルスクールグループ代表)

シンポジウムテーマ「グローバル社会で生き抜く力を育てる外国語教育」について、国際バカロレアの日本での普及に尽力されてきました坪谷ニューエル郁子氏に、これまで教育現場で取り組まれてきた活動を紹介しながら、お話しいただきます。



坪谷ニューエル 郁子 プロフィール

イリノイ州立西イリノイ大学修了、早稲田大学卒。1985年イングリッシュスタジオ(現 東京インターナショナルスクールグループ)設立、代表取締役就任。1995年東京インターナショナルスクールを設立、理事長就任。同校は国際バカロレアの認定校。その経験が評価され、2012年、国際バカロレア(IB)機構アジア太平洋地区委員会の委員(現国際バカロレア日本大使)に就任。文部科学省とともに、教育の国際化の切り札となる国際バカロレアの普及に取り組んでいる。著書に、「英語のできる子どもを育てる」(講談社)、「絶対、わが子は「英語のできる子」に!」(PHP研究所)、「小学校総合的な学習英語活動 Activity Pack I-III」(東京書籍)、「世界で生きるチカラ-国際バカロレアが子どもたちを強くする」(ダイヤモンド社)がある。

13:55-14:00

<休憩>

14:00-15:45

パネルディスカッション 「新しい学力観」×「英語教育」 小・中・高 英語教育現場の最前線

しばしば英語教育では流暢な英会話スキルの習得が成果として期待されます。しかし、国外では数十年前から「主体的・対話的で、深い学び」を目指した外国語教育が実践され、国内でもいくつかの学校において「新しい学力観」(汎用的能力、コンピテンシー)を念頭においた英語教育が展開されてきました。パネルディスカッションでは小中高の教育現場において先進的な英語教育を実践されている先生方にお集まり頂き、所属校の英語プログラムの特徴および日々の授業内容・方法についてご紹介いただきます。

パネリスト

- ・ 正頭 英和
(立命館小学校教諭・ICT 教育部長)
- ・ 小泉 香織
(渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭)
- ・ Ian Daniels
(かえつ有明中学校・高等学校教諭 国際主任)
- ・ 植松 久恵
(広尾学園中学校・高等学校教諭
インターナショナルコース統括長)

司会・進行

- ・ 新多 了
(立教大学外国語教育研究センター教授・
センター長)